

平成26年度 海外臨床薬学研修報告書

「海外研修を通して学んだこと」

研修期間：平成26年7月26日～8月10日

研修先：南カリフォルニア大学薬学部

薬学部薬学科 5年

100973127

小島 梨花

私が今回の海外研修へ行こうと思ったきっかけは、医療の先進国であるアメリカでは薬剤師の存在価値が高く、医師からも患者からも信頼されているということを知り、日本の薬剤師よりも多くの権限を持つアメリカの薬剤師にあこがれを持ったことです。また、自然療法に興味を持っており、アメリカでメジャーなハーブ製品が現場ではどのように使用されているのかを知りたいと思い、この USC 研修に参加しました。本研修プログラムでは、2週間の渡航期間のうち9日間 USC 大学で現地の先生、学生による講義や留学生同士のディスカッションや USC 大学関連施設の見学などの授業を受けることができました。講義では、HIPPA と呼ばれる患者のプライバシー保護、SOAP ノート作成方法、糖尿病の疾患概要やケーススタディ、高血圧の疾患概要やケーススタディやグループディスカッション、不眠症の疾患概要について学びました。今回の研修では、留学生が日本から名城大学を含めて4校30名程度と、韓国からは2校20名程度が集まり、留学生の人数が多かったことと USC 大学が夏季休暇中であったため、現地の大学講義を受けることはなく、留学生が約50名と現地の先生1名、学生2~4名が1つの教室に集まり、英語で授業をしました。授業は自由席であるため、毎日新しい交流があり留学生同士のコミュニケーションが多かったのはこのプログラムの魅力の1つだと思います。私の今回の目的として、現場で実際に働く薬剤師を見たいと思っていましたため研修プログラムに含まれていない現場訪問を現地の先生に交渉してみましたが、留学生の数が多くにより、プログラムに組み込むことはできませんでした。そのため、授業後にロサンゼルスでは大手の CVS ドラッグストアに名城大学生だけで足を運び、休日にはバスを使って中心街から少し離れたハーブ薬局へ行き見学をさせていただき、現場の薬剤師の働く姿を見て、話を伺いました。CVS へ行ったときに、ドラッグストア内の調剤室の横にワクチン注射ができる簡単な部屋が設置されていることに驚きました。カリフォルニア州では薬剤師のワクチン注射が認められており、ドラッグストアで買い物ついでにワクチン接種を受けられるのは、薬剤師が信頼されているからだと思いました。また、ハーブ薬局へ訪問した時に運よく USC 大学の生徒が薬局実習を行っていて、積極的に来客者に声をかけてアドバイスをしている姿を見て、学生の薬剤師としての意識の高さを感じました。ハーブ薬局ではハーブのほかにも中薬なども取り扱っていて、特に鍼灸が一般的に広まっていることを知りました。そのほかにも、ハーブ薬局の現状やよく販売される商品についてなどの話を聞くことができ、自分にとってプラスになる時間を過ごせました。今後、この研修に参加する方にはぜひ、CVS 見学とハーブ薬局訪問は行ってほしいと思います。私は日本で実務実習を受ける前に、今回の海外研修を経験することになりました。実習に行く前で研修中に日本の医療との比較はすることができませんでしたが、アメリカの医療の様子を先に知っていることで、日本での実務実習でアメリカの医療を意識して取り組むことができていると思います。研修プログラムの中で、USC 大学関連施設の病院を見学させてもらったのですが、病院薬剤師の方に話を聞いて、薬剤師が積極的に医療に参加しており、チーム医療の一員として活躍されているという印象を受けました。処方プロトコルを薬剤師が作成していて、薬剤師の判断で投与量・

薬剤変更が可能であり、責任がある分ほかの医療従事者からも信頼されていると感じました。研修を通して、アメリカの薬剤師は薬剤師ではできない現状です。アメリカの薬剤師が日本の薬剤師よりも優れているということではありません。いかに臨床に結びつけるのか、幅広い分野で責任をもって薬剤師が活躍できるようにするかは、アメリカのシステムを取り入れるべき点が多いのではないかと感じました。6年制になって日本の薬剤師の可能性は広がると思います。これからほかの医療従事者からも患者からも信頼され判断を任せられるような必要とされる薬剤師となっていけるシステムを作っていきたいと思いました。研修に行く前に、研修で学びたいことの設定、具体的に自分がどのように行動するかを考えることは、2週間の短い期間を有意義に過ごすために、とても必要なことでした。また、英語力があってこそ学べるが多かったため、特に、もっと英会話の力がついていたらよりたくさんの方が学べたのではないかと思うこともありました。しかし、今回の海外研修へ行ったことで日本にいたら経験できないことがたくさんあり、意識の高い留学生や現地の学生と知り合うことができ、刺激の多い研修になりました。このような素晴らしい研修の機会を与えて下さった関係者の皆様、研修をサポートして下さった皆様に御礼申し上げます。